

# 土木・建築分野における木材利用／環境評価／木材強度学

専攻：森林・環境資源科学専攻

学科：生物環境科学科

研究室：木材工学研究室

氏名：山崎真理子（教授）



『研究キーワード』 Timber Engineering／木材利用／強度評価／長寿命化／劣化評価／耐久性／LCA／循環型社会／都市の木質化

『研究シーズ・スキル』： ①木材・木質材料・木造建築エレメントの強度評価（疲労試験、実大を含む）、②立木の力学診断、③社寺、城郭を含む木造伝統建築の材料評価、④木造建築の維持管理と劣化診断、⑤木造建築のLCA評価、⑥建築物・建設活動のSDGs貢献度、⑦木材の需給計画、⑧人工林内の木材強度分布にマッチングした木造建築設計

## 『WEB サイト』

研究室 HP : <https://www.agr.nagoya-u.ac.jp/~biomeng/>

研究室 Instagram : [https://www.instagram.com/nagoyauniv.timbereng\\_lab/](https://www.instagram.com/nagoyauniv.timbereng_lab/)

研究者総覧 : [https://profs.provost.nagoya-u.ac.jp/html/100003901\\_ja.html](https://profs.provost.nagoya-u.ac.jp/html/100003901_ja.html)

研究テーマ：建築材料として木材を使うことで、①人工林の再生（炭素固定機能の活性化）、②建築物内での長期間にわたる炭素貯蔵、③建設段階の炭素排出量削減、④最終廃棄時のサーマルリサイクルの4段階で脱炭素社会に貢献。木材生産と都市の木質化が両輪となり、生産－建設－利用－廃棄に至るライフサイクル全体を持続可能なものとし、人にも地球にも負担をかけない健全な社会を目指す。

